

情報システムユーザースキル標準(UISS)
(16)システム監査
(研修ロードマップ)

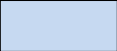

2009. 03

社団法人日本情報システム・ユーザー協会
情報システムユーザースキル標準センター

独立行政法人 情報処理推進機構
経済産業省

1. 研修コース群(体系図)----- (16)-2
2. 研修コース一覧----- (16)-3
3. 研修コースの内容----- (16)-4

研修コース体系図 (16) システム監査

 = 当該領域研修コース
  = 他の領域研修コース

	初級	中級	上級	特論
テクノロジー				<div>最新セキュリティ 技術動向</div> <div>最新技術動向</div>
マネジメント	システム監査初級	システム監査中級	システム監査上級	システム監査の最新動向
ストラテジ	内部統制概論	IT 統制		<div>インダストリ アプリケーション動向</div>

研修コース一覧 (16)システム監査

分類	コース名	研修方法			研修期間		ページ	備考 (参照先)
		eラーニング	講義	ワーク ショップ	eラーニング (標準時間)	クラス (標準日数)		
初級	システム監査初級	○	○		6 時間	1 日間	(16)-4	
	内部統制概論	○	○		6 時間	1 日間	(16)-5	
中級	システム監査中級		○	○		3 日間	(16)-6	
	IT 統制		○	○		3 日間	(16)-7	
上級	システム監査上級		○	○		3 日間	(16)-8	
特論	システム監査の最新動向		○			1 日間	(16)-9	
	最新セキュリティ技術動向		○			1 日間	(14)-13	
	最新技術動向		○			1 日間	(05)-11	
	インダストリアプリケーション動向	○	○		6 時間	1 日間	(06)-9	

<div>コース名</div> <div>研修コースの内容</div>	<div>システム監査初級</div>
講座分類	<input type="checkbox"/> 入門 <input checked="" type="checkbox"/> 初級 <input type="checkbox"/> 中級 <input type="checkbox"/> 上級 <input type="checkbox"/> 特論
コースのねらい	<p>当コースは、システム監査について、システム監査基準に則り、システム監査の目的、一般基準、実施基準、報告基準を中心に、上司の指導の下または一定程度であれば独力でシステム監査計画・実施・報告等の作業ができる基本的な知識の修得を目的とする。</p>
受講対象者	<p>上司の指導の下または一定程度であれば独力で、システム監査の計画・実施・報告等ができることを目指す者</p>
研修方法	<p>講義およびeラーニング</p>
研修期間	<p>標準日数 1 日(クラスルーム)、標準時間 6 時間(eラーニング)</p>
スキル修得目標	<p>システム監査について、上司の指導の下または一定程度であれば独力で、すべて独力で計画、実施、報告等ができる</p>
関連知識	<p>以下の事項の基本的な知識 内部統制、システム監査基準、 情報セキュリティの国際基準 ヒアリング手法、リスク分析手法、 監査証跡に関する知識 監査手続書、監査調書、 システム監査報告書の様式・記載事項</p>

<div>コース名</div> <div>研修コースの内容</div>	<div>内部統制概論</div>
講座分類	<input type="checkbox"/> 入門 <input checked="" type="checkbox"/> 初級 <input type="checkbox"/> 中級 <input type="checkbox"/> 上級 <input type="checkbox"/> 特論
コースのねらい	<p>当コースは、システム監査の前提知識として、内部統制全般について理解することを目的とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 金融庁、経済産業省、日本公認会計士協会等から公表された内部統制に関する法規・ガイドラインなどの要点を学習する ○ 内部統制の実施状況の評価や指導・支援の立場を前提とした研修である(監査の立場)。但し、被監査者の受講も可能とする ○ 内部統制の目的、必要な手順、成果物(リスクコントロールマトリックスなど)などの概要について学習する ○ 情報システムの研修であるため、職務分離やアクセスコントロールなどのITの統制に関する基本内容も含む
受講対象者	内部統制(IT統制を含む)の基本知識を理解したい者
研修方法	講義およびeラーニング
研修期間	標準日数 1日(クラスルーム)、標準時間 6時間(eラーニング)
スキル修得目標	<p>内部統制の目的や手順について概要を理解できる</p> <p>内部統制におけるITの統制の位置付けを理解できる</p> <p>内部統制の実施作業の全体像を把握できる</p>
関連知識	<p>金融商品取引法(実施基準等を含む)</p> <p>その他法令、基準・ガイドライン、契約(共通業務/コンプライアンスを参照)</p> <p>コミュニケーション計画</p> <p>ヒアリング手法</p> <p>監査証跡に関する知識</p> <p>プロジェクトマネジメント</p>

<div>コース名</div> <div>研修コースの内容</div>	<div>システム監査中級</div>
講座分類	<input type="checkbox"/> 入門 <input type="checkbox"/> 初級 <input checked="" type="checkbox"/> 中級 <input type="checkbox"/> 上級 <input type="checkbox"/> 特論
コースのねらい	<p>当コースは、システム監査について、システム監査基準に則り、システム監査の目的、一般基準、実施基準、報告基準を中心に、独力ですべてのシステム監査計画・実施・報告等の作業ができる応用的な知識の修得を目的とする。</p> <p>○ システム管理基準、情報セキュリティ監査基準などの関連法規やガイドラインも学習範囲に含める。但し、情報セキュリティ監査は別に研修コースを作成しているため、当コースでは概要の理解を目処とする</p>
受講対象者	<p>すべて独力で、システム監査の計画・実施・報告等ができることを目指す者</p>
研修方法	<p>講義およびワークショップ</p>
研修期間	<p>標準日数 3日(クラスルーム)</p>
スキル修得目標	<p>システム監査について、すべて独力で計画、実施、報告等ができる</p>
関連知識	<p>以下の事項の応用的な知識</p> <p>内部統制、システム監査基準、情報セキュリティの国際基準</p> <p>ヒアリング手法、リスク分析手法、監査証跡に関する知識</p> <p>監査手続書、監査調書、システム監査報告書の様式・記載事項</p>

<div>コース名</div> <div>研修コースの内容</div>	IT統制
講座分類	<input type="checkbox"/> 入門 <input type="checkbox"/> 初級 <input checked="" type="checkbox"/> 中級 <input type="checkbox"/> 上級 <input type="checkbox"/> 特論
コースのねらい	<p>当コースは、システム監査の周辺知識として、内部統制の内、ITの統制に係る知識の修得を目的とする</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 内部統制の実施状況の評価や指導・支援の立場を前提とした研修である(監査の立場)。但し、被監査者の受講も可能とする ○ ITに係る内部統制の実践的な内容を学習する (例)ITに係る内部統制プロジェクトの評価(体制、計画、統制範囲)、作業項目(リスクコントロールマトリックスの評価、運用テストの実施・評価、キーコントロールの評価、職務分離、アクセスコントロール、経営者評価など) など ○ 内部統制の手続きに関する研修は、実例を通じた実践的な内容が望ましい。
受講対象者	ITに係る内部統制の実施者ならびにIT統制の概要を理解したい者
研修方法	講義およびワークショップ
研修期間	標準日数 3日(クラスルーム)
スキル修得目標	<p>ITの統制に係る必要な手順や知識を活用して内部統制(IT統制)の実施状況进行评估できる</p> <p>対象企業のITに関する内部統制进行评估できる</p> <p>ITに関する内部統制に必要なセキュリティなどの関連知識も理解できる</p>
関連知識	<p>金融商品取引法(実施基準等を含む)</p> <p>システム管理基準(追補版)</p> <p>その他法令、基準・ガイドライン、契約(共通業務／コンプライアンスを参照)</p> <p>情報資産の識別方法(情報システム、ネットワーク、データ、文書、人材)</p> <p>リスク分析手法</p> <p>人的セキュリティ対策、技術的セキュリティ対策、物理的セキュリティ対策</p>

<div>コース名</div> <div>研修コースの内容</div>	<div>システム監査上級</div>
講座分類	<input type="checkbox"/> 入門 <input type="checkbox"/> 初級 <input type="checkbox"/> 中級 <input checked="" type="checkbox"/> 上級 <input type="checkbox"/> 特論
コースのねらい	<p>当コースはシステム監査(中級)の後続として、システム監査について、システム監査基準やシステム管理基準を参考にしつつ、システム監査計画・実施・報告等の作業の課題の発見と解決を指導・管理できる高度かつ専門的な知識の修得を目的とする。当コースの研修は、実例を通じた実践的な内容が望ましい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 監査の目的設定、監査計画の立案、監査の実施(監査証拠の入手と評価)、監査調書や監査報告書などの作成と報告、監査結果のフォローアップに至る一連の監査手続きを学習する ○ 情報セキュリティ監査などの関連法規・ガイドラインなども学習範囲に含む。但し、情報セキュリティ監査は別に研修コースを作成している ○ システム監査に必要な監査証拠の収集・分析、監査ツールについても学習する
受講対象者	システム監査の計画・実施・報告等を指導または管理する立場を目指す者
研修方法	講義およびワークショップ
研修期間	標準日数 3日(クラスルーム)
スキル修得目標	<p>システム監査について、指導または管理する立場で、システム監査の関連法規などに基づきシステム監査を実施できる</p> <p>計画、予備調査、実施、報告、監査結果のフォローに至る全体工程を理解して、システム監査を実施できる</p> <p>正常なシステム動作やシステムの整合性がどのようなものか理解できる</p> <p>監査対象先のシステムに対して「信頼性」、「安全性」、「有効かつ効率的」であるかの観点から、問題点の抽出や評価を行い、その改善についても適切に助言できる</p> <p>監査対象先のシステムについて体制、仕組み、運用などを理解してシステム監査を実施し、必要文書の作成を行い経営層に報告できる</p>
関連知識	<p>以下の事項の高度かつ専門的な知識</p> <p>内部統制、システム監査基準、情報セキュリティの国際基準</p> <p>ヒアリング手法、リスク分析手法、監査証拠に関する知識、監査手続書、監査調書、システム監査報告書の様式・記載事項</p> <p>プロジェクトマネジメント、品質管理、システム監査の動向</p>

<div>コース名</div> <div>研修コースの内容</div>	<div>システム監査の最新動向</div>
講座分類	<input type="checkbox"/> 入門 <input type="checkbox"/> 初級 <input type="checkbox"/> 中級 <input type="checkbox"/> 上級 <input checked="" type="checkbox"/> 特論
コースのねらい	<p>当コースは、システム監査の関連法規やガイドラインの改訂等に関する最新動向を修得することを目的とする。</p> <p>○ システム監査の最新事例や最新の監査技法を学習する</p>
受講対象者	システム監査の実施者
研修方法	講義
研修期間	標準日数 1日(クラスルーム)
スキル修得目標	<p>システム監査に関する最新動向をキャッチアップできる</p> <p>制度改正などの主旨を理解できる</p> <p>最新事例を参考にしてシステム監査業務に応用できる</p>
関連知識	<p>関連法規・ガイドライン</p> <p>(例)システム監査基準、システム管理基準、情報セキュリティ監査基準、情報セキュリティ管理基準、個人情報保護法など</p> <p>内部統制</p> <p>システム監査技法</p>